

昌子の広場 第26報

2003.11号



和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘 2-13-10

Tel(Fax) 0725-54-2626

Email masakokob@yahoo.co.jp

<http://www.geocities.jp/yoitikob/>

ホームページもご覧下さい

yahoo の小林昌子で検索出来ます。

<この会報は再生紙を使用しています>



目次

・住基ネット	P1
・ダムを巡る最近の動き、東部農用地問題	P2
・一般質問続報	P3
・昌子の広場	P4

伸びない住基カード！
市民は住基カードにぞっぽ

市民は住基ネットに無関心 貴重な税金がここでも無駄に！

下の数字は住基ネットの2次稼働（本年 8/25）以降から、10月20日迄おおよそ2ヶ月を経過した段階での住基カードの発行枚数で77枚となっています。（分母は発行予定枚数）



77/4500

この数字は一体何を物語っているのでしょうか？

2ヶ月経過後でも計画枚数の2%にも満たない発行枚数です。他府県でも住民票が取れる等の利便性をうたい文句にスタート

した住基カードのこれが現状です。計画した発行枚数4500枚は全く絵に描いた餅であります。

このような住基カードに市民の貴重な税金が使われています。

国の予算では2003年度でシステムテスト費用、ハードウェアリース料など約233億円が総務省から予算要求されています。

和泉市では14年度末まで人件費を除いて約5千万の開発費、運営費はこれも人件費を除いて年間500万円が必要となります。厳しい財政状況にあって誰のための住基ネットなのでしょう。決して市民のためのものとは言えません。市民のみなさんこのようなことを許しているのでしょうか！

和泉市への中止申し入れに続き 住基ネット差し止め訴訟に参加

私はまもなく提訴されます住基ネット差し止め第三次訴訟に原告の一員として参加します。

市民の皆様、壮大な無駄を作り出すだけでなく、極めて危険な住基ネットを阻止すべくそれぞれの立場で行動しようではありませんか。

以下はそのアピールです。

政府・総務省は、全国各地における離脱や市民選択制採用の動きを押し込みながら、住基ICカードの発行をはじめとする住民基本台帳ネットワークシステムの「本格実施」を強行しました。

これは国民の個人情報を取り返しのつかない危機にさらす暴挙であり、国民の権利と地方自治の本旨を完全に踏みしめるものといわなければなりません。

そもそも現在住基ネットの上を流れている私たちの氏名・住所・生年月日・性別などの「基本情報」は、その他の個人情報とともに、私たちが、主権者住民として生活していく必要からそのかぎりにおいてそれぞれの市町村に届け出たものです。にもかかわらず、この私たちの「基本情報」を、勝手に番号を付けて本人に無断で都道府県や地方自治情報センターの大型コンピュータに移して利用することは、たとえそれが「公開情報」とされていたとしても、憲法13条にもとづく国民の自己情報コントロール権を侵害するものです。

今国民の間で急速に盛り上がる批判と反対の声を無視し住基ネットの「本格実施」を強行するのは、政府が、私たち国民一人ひとりに11ケタの番号をつけることを手段として私たち国民を管理し統制することを

狙っているからにほかなりません。

政府・総務省ならびにこれに従う各府県にたいして、憲法に違反して国民監視の一元化をはかる住民基本台

帳ネットワークシステムをただちに廃止するよう求めるものです。

ダムを巡る最近の動き

亀裂が進む大滝ダム白屋地区。全戸移転決まる。

奈良県川上村に国が建設した大滝ダムの試験貯水後に、同村白屋地区で住宅などに多数の亀裂が見つかり、原因を調査していた学者らでつくる国土交通省の「大滝ダム白屋地区亀裂現象対策検討委員会」(委員長、渡正亮・日本地すべり学会顧問)は1日、「ダム貯水が亀裂の原因」と断定、因果関係を認めました。

地滑りの危険性は30年も前から指摘されていましたが、このような事態になりついにダムが原因と認めました。このように当事者はダムを造ることに都合のよい事は明らかにしても、不都合な事は往々にして明らかにしないことが多くあります。

槇尾川ダムでもこのような心配は無いのでしょうか。

右は朝日新聞朝刊(10.28付け)の声欄への投書です。

地面のひびが心の亀裂招く(奈良県四十四歳)

今年五月から始まった突然の地面の亀裂。私たち奈良県川上村白屋地区住民の「人生の亀裂」の始まりだった。何百年と続いた集落が、大滝ダムという人造物によって壊されていく。自然の力に人間は勝つことができないことを知らされた瞬間である。

七月終わりに仮設住宅に移った。不自由な生活が続いているが、家もろとも命を落とす地滑りの恐怖からは解放された。誰もが故郷に思いや愛着はある。戻りたい気持ちは強い。しかし、最高の土木工学から「安全だから」と言われても、私は戻りたくない。いつまたひび割れが発生するかという恐怖に耐えられない自信はないのだ。

子どもたちは駅やデパート、映画館などでひびを見つけると、「ここ、大丈夫」と不安そうに聞いてくる。「大丈夫」と聞いてほっとする表情を見ると、恐怖感の大きさがうかがえ、可哀想で仕方がない。

この亀裂で人生設計が大きく変わるつもりしている。十月に入って国土交通省は全戸永住移転を決断した。今度は新天地を探さなければならぬ。あの恐怖、故郷を失う寂しさ、無念さは忘れられないだろう。

ましていま小学生の子どもたちの心には、もっと大きな亀裂が残っていくのだろう。

東部農用地整備事業計画変更 増大する事業費・問われる計画!

私は予てより問題を指摘していました泉州東部農用地整備事業の事業費が増大することが明らかとなりました。この事業について私は保水力のある緑を破壊し、その一方で洪水対策として槇尾川ダムを造るという一貫性のない政策に強く抗議して参りました。その事業費が当初の249億円が今回299億円と50億円も増加することが明らかとなりました。

泉州東部農用地整備事業計画変更

(単位百万円)

区分	現計画	変更計画	増減
区画整理	5,634	5,893	259
農用地造成	1,816	2,200	384
客土	43	74	31
農業用道路	17,407	21,733	4,326
計	24,900	29,900	5,000



突然現れる不釣り合いな農用地道路

削り取られる山肌



世の中は4年続きのデフレ経済で大幅に物価は下落しています。このような時代に事業費が増えるというは如何にいい加減な計画であるかということです。槇尾川ダムも97億円から128億円に、茨木市に建設中の安威川ダムは836億円から1400億円に増えるというように公共事業費はいずれも大幅に事業費がアップしています。

もう一度このような不要不急で環境を破壊する事業を皆さんと一緒に阻止しようではありませんか。

一般質問の続報

先月号のコスモポリスに関する質問に引き続きその他の項目の内容を報告させていただきます。

市民サービスの向上について

・土日祝日の住民票の発行について

<質問>

府内自治体で土日祝日の住民票の発行が可能となっているが和泉市はどうか

<答弁>

休日夜間ボックスを設置している。最近利用が少なくなっているが、PRにつとめたい。

<質問>

4月にオープンしたシティープラザは図書館も含め遅くまで開いているが、出張所の時間延長は考えられないか。ここには夜間ボックスがない。又府内各自治体で設置されている自動交付機の設置はどうか

<答弁> 時間延長は本庁との連絡等が必要な場合があり本庁と同じ開庁時間としたい。夜間ボックスの設置は検討する。自動交付機の設置は費用対効果や問題点も含め、窓口事務改善研究委員会で検討したい

・ワンストップ窓口について

<質問>

シティープラザでは集中窓口機能を備え、好評であるが、本市のワンストップ窓口の現状は

<答弁>

本庁での総合窓口は職員の能力やスペースの問題等で早期対応は困難。シティープラザの状況等を整理し今後研究検討したい。

<質問>

結論の目処と本庁での番号表示は考えられないか。

<答弁>

1年を目処に検討し一定の方向性を出す。実施までの間、銀行などで実施している番号表示等前向きに検討する。

・乳ガンのマンモグラフィー検診について

<質問>

視触診での誤診からマンモグラフィー検診導入が叫ばれているが他市の状況と本市の考えは

<答弁>

泉州地区では泉大津市を始め2市3町で実施。本市で対応可能な医療機関は2カ所。医師会とも連携して検討したい

子供たちの健やかな育成について

・有害紫外線対策について

<質問>

この夏公立・私立の保育園すべてを見学し、新潟県上越市の視察を踏まえ、数点質問する。過去にも質問したが有害紫外線対策は。

<答弁>

本年4月選択制ではあるが日よけ帽子を導入した。来期導入を目標に園長会で夏用長袖の導入を現在検討中である。学校についてはプールへの遮光ネットの採用を順次増やしている。来年度には全校に設置が完了する。

<質問>

私立の保育園ではほとんど対応がなされていないが、行政からの情報提供に問題はないか。

<答弁>

毎月一回の園長会での情報提供を強化したい。

(私立のある園ではたれ付き帽子をこの秋から早速採用して頂きました)

・保育に関する情報提供について

<質問>

保育園に関する冊子をシティープラザや保健センターに備えられないか

<答弁>

前向きに検討したい。又チャイルドネットと連携しホームページで本市の保育園の情報提供を充実したい

<質問>

和泉市のホームページの更新は1ヶ月に2回。これではタイムリーな情報提供は困難ではないか

<答弁>

平成16年度には各課からホームページを更新できる体制を取りたい

・物品購入方法について

<質問>

かつて小中学校の物品購入で安価な購入先を選択できる方式を質したが、同様のことが保育園でも出来ないか

<答弁>

1件5万円未満は園長決裁としている。市内業者の育成を基本にしながらも早急に検討する

・給食への陶磁器の導入について

<質問>

学校給食に全面陶磁器の導入は考えられないか

<答弁>

全校実施は困難。モデル校で実施し破損率、搬送性などを検討し、教育委員会としての判断を出す

<質問>

昨年の決算委員会では平成15年度以降出来るだけ早い時期にモデル校を指定したいとの答弁であったが、いつ指定するのか

<答弁>

平成16年度予算対応を考えたい

新議会の役員決まる 総務文教委員会の委員長に!

新しい議会の役員が決まりました。
議長に辻正治さん、副議長に小泉政一さんが選出されました。
私は常任委員会の総務文教委員会の委員長に選出されました。常任委員会の委員長は通常何期も務められた議員が就任するのが普通で、私のような新人議員が就任するのは異例なようです。
予てより教育の問題については強い関心を持ち活動してきました。重責を感じると共に精一杯頑張ります。

自治体議員勉強会inヨーロッパに参加

10月末から自治体議員勉強会でヨーロッパに行きました。(公務ではありません。当然私費での視察です。)
<視察の目的等は>
・ドイツ フライブルク市 環境行政
・デンマーク ヘルシンゲア 福祉行政
・オランダ ユトレヒト 高齢者市民活動
等が主なものです。
詳細は来月号でご報告させていただきます。

昌子の広場

衣類提供のお願い

ホームレスの皆さんに定期的に衣類の提供を続けています。ご不要になった衣類の提供をお願いします。たくさんの方々のご協力を頂いております。皆様のご好意は既に6回目お届けしました。出来れば男性大人用の衣類を希望しています。これから厳しい冬を迎え毛布なども歓迎です。宜しければお家まで引き取りにお伺いします。ご協力頂けます方は
Tel 0725-54-2626 小林迄ご連絡下さい。



山ヶ崎支援機構から礼状を頂いております。

<昌子に日記から>

- 10/1 一般質問
- 10/2 本会議、DV 支援講座
- 10/3 子どもサポーター会議
- 10/6 アイ・あいロビー環境クラブ
- 10/7 信太山駅会報配布、小地域ネットワーク会議
- 10/8 和泉中央駅会報配布、市政相談会
- 10/9 和泉中央駅会報配布、議会役員選挙
- 10/10 和泉中央駅会報配布、議会役員選挙
- 10/11 万葉講座
- 10/12 里道清掃、中尾隆夫遺作展
- 10/14 和泉府中駅会報配布
- 10/15 北信太駅会報配布、議会便り編集委員会、アイ・あいロビー運営委員会
- 10/16 光明池駅会報配布 教育委員会膨張 DV 支援講座
- 10/18 ツデーウォーク 17k 参加、「おぐり考」中西和久一人芝居
- 10/20 和泉府中駅会報配布
- 10/21 和泉中央駅会報配布
- 10/22-11/2 自治体議員勉強会 in ヨーロッパ

< 事務所行事 >

万葉講座

- ・講師 大高勇さん いずれも午後2時より
- ・会費 3回で 1,000円
- ・20回 10/11(土) (済み) 永遠の別れ
- ・21回 11/23,24(土、日) 一泊万葉の旅 近江を訪ねて
- ・22回 12/13(土) 山陰の旅(Part2)

パソコン講座(無料)

- ・毎週 木、土曜日 14時から
- パソコンが初めての方もどうぞ遠慮なく。word、excel、一太郎お悩みの方もどうぞ、この会報位出来ますよ!
- 初めてこられる方はご連絡下さい
- Tel 0725-54-2626

市政相談会を開いています

- ・第2,4水曜日 20時~21時30分
- ・場所 小林昌子事務所
- お気軽にどうぞ!

<お願い>

本会報も次第に発行部数が増え、現在17,000部となっています。多くの皆様のご協力で皆様にお届けしています。何部でも結構です。ポスティングにご協力頂けます方がおられましたらご連絡ください。お家までお届けします。